

やる気 根気 元気

中富中だより

令和3年
12月24日文責
田村圭司

<年度の重点目標> 「仲間と協働し 主体的に学び 豊かに表現する生徒」の育成



転ばぬ先の杖は、つきすぎないようにして「折れない心」を育てる

2学期が終わり、明日から24日間の冬休みになります。このままコロナ感染症が落ち着いてくれば、卒業式も従来に近い形で行うことができそうです。ただ、オミクロン株の第六波も予想されますので、1月に入って教育委員会とも相談し開催方法等を決める予定です。

さて、「レジリエンス」という言葉を耳にしたことがあるでしょうか。訳すと「折れない心」とか、「回復力」「復元力」「弾力」という意味ですが、「困難にぶつかっても、しなやかに回復し、乗り越える力」という「たくましい感じ」です。

これからの刻々と変化し予測不能な時代の中で、この「レジリエンス」が重要だといわれています。そして、この力を育てるために必要なのは、私たち教職員も含めた「親や周りの大人の姿や接し方」のようです。例えば次のような場面をイメージしてください。

*どんなタイプが子どもの力を伸ばせるか？

①公園で、目を離しているときに子どもが、砂場の段差で転びました。お母さんは？

- A. 「だから言ったでしょ。一人で歩き回っちゃいけないって。お母さんの言うこと聞かないからだよ。気を付けなさい」
- B. 「砂場の段差がなければ転ばなかったのにね、大けがしたらどうしてくれるの。町に言ってくる」
- C. 「痛かったね。どうしたらそうなったの。…。そうか、そういうこともあるね。今度からどうすれば良い？…。そうだね、それは良い考えだね。」

②三者懇談会の場面で、先生が「〇〇君、家で何時間くらい勉強していますか」と質問すると〇〇君は黙ってしまいました。すかさずお母さんは？

- A. 「昨日は夕食後に少しテレビを見て、その後部屋に入ったので、それから寝るまでずっと勉強していたようです。」
- B. 「うちの子は、こういう場面でしゃべるのが苦手なんです。(〇〇に向かって)いつもしっかりやっているんだからそのまま先生に言えば良いのよ」と…。



「転ばぬ先の杖を大人が与えすぎではないか」「大人が子どものことを決めつけて(枠にはめて)しまっていないか」と考え、接することが大事な場面のようにです。

子どもは痛さを知って用心深くなり、痛さを知って友達の痛みもわかるようになります。子どもは小さな痛みを経験することが大切で、身体的な痛みだけでなく精神的な痛みも同様です。また、親が「この子は真面目なんですよ」と言うと、「私は真面目なんだ」と思い込んだり、「これからも親に嫌われないように真面目であり続けよう」と枠の中で考えたり振る舞ったりするようになってしまう傾向もあるようです。

学校では、昔のようなただ教科書を教えるだけの一斉授業や、型にはめてすべて指示を出す生徒会活動や当番活動、部活動、行事などは行っていません。子どもたちは主体的に粘り強く考えたり、仲間と意見を交わし協働したりしながら学校生活を送り、教師側は、時には時間がかかっても我慢強く待ったり、失敗もさせながら、接するようになっています。

中学生の時期は、ただでさえ思春期で小さな壁が多いのですが、コロナ禍も影響し不安や心配がさらに増えていると思います。こうした中でも、「折れない心」をつくっていくため、そして将来、子どもたちが社会の中で自立していくためにも、転んだときに起き上がる力や、立ち上がるための杖をつくっていくように、今は私たち大人が関わり方や、出番を配慮していけたらと思います。



北海道・全国PTA三行詩コンクール優秀作品

ふだんはあまり話さないけど
この世の中になって 気づいた
家族と話すとおもしろい

中富良野中学校
青山 丈留

毎年行われているPTA主催の「三行詩コンクール」。テーマは家族のコミュニケーションから育まれる絆や、家庭教育や命の大切さ。今年是一年生の青山丈留くんの作品が全道の優秀作品に選ばれ全国に推薦されました。

その他入賞した、中学生の作品(右2点)も紹介します。

【文部科学大臣賞】

減ってしまった父との会話
二人きりで将来語る
塾帰りの二十分間
いつも送迎ありがとう

【日本PTA会長賞】

登校中 弟と会い
両手で大きく手を振る弟
それを私も小さく返す

人と人をつなぐ大切なもの ~あいさつ~



生徒会や委員会によるあいさつ運動が後期も行われました。あいさつ運動はあいさつの押し売りの要素も感じられる場面がありますが、あいさつのできない子にとってみれば、あいさつを練習する良い場所ともいえます。

あいさつのできない子は声を発する事自体が苦手な子もいるので、「あいさつをする」「あいさつを返してもらおう」というやり取りの耐性をつける目的では良い面があるといわれています。

良い例が、PTA関係の雑誌(母親の投稿)に載っていたので紹介します。

あいさつ運動の 大きな2つの効果

- 人との関わりを引き出す効果
- 声を出すことで前向きになれる効果

あいさつ運動には、私が参加した時には数人の保護者と地域のボランティアと思われる方、教頭先生がいらっしゃいました。この地域のボランティアの方がとにかく体育会系の方でして、大きな声で一人ひとりに顔を近づけて「おはようございます！」と挨拶を投げかけておりました。この様子を見ていて、私は「うわー、長男には苦手なタイプだろうなー」と思っていたら、長男が登校してきた時、長男は小さい声ながらもそのボランティアの方に挨拶をしていました。ボランティアさんの威勢のいい挨拶に押されてしまった感も否めませんでした。挨拶の押し売りとも捉えられるこのようなやり取りも、実は案外良いものなのかもしれないと思えました。

というのも、ご近所さんへの挨拶をこれまで無視していた長男ですが、先日は私がご近所さんに挨拶をした時に、私に続いて長男も自分から挨拶をしたのです。(声は相変わらず張れてませんでしたけどね 笑)相手に聞こえないくらいの声量ではありましたが、私は長男が自ら挨拶をしたことが嬉しく、たくさん褒めてやりました。

今年度のPTA活動について


新型コロナウイルスの影響で、PTAの活動がほぼ停止状態でしたが、少し落ち着いたため、各専門部で集まり今後の活動について話し合いました。活動できない部もありますが、今後の各部の活動についてお知らせいたします。

- ・広報部 PTA広報誌発行予定
- ・研修部 研修会等は今年度中止
- ・事業部 PTA送別会は中止
卒業を祝う会は中止
- ・校外研修部 下校バスの添乗指導(活動済)

先が読めないコロナの感染状況により、今年度も例年並みの活動ができない専門部もあります。どうぞご理解をお願いいたします。

1月の行事予定

*12月27・28日 冬休み学習会①②

| | | |
|-----------|---------------|---|
| 1月 1日~ 3日 | 学校閉庁日 |  |
| 5日 | 南部地区スキー大会 | |
| 11日・12日 | 冬休み学習会③④ | |
| 13日・14日 | 3年学年末テスト | |
| 13日~15日 | 全道スキー大会(富良野) | |
| 15日 | 旭川地区アソビ 凧ソール | |
| 18日 | 3学期始業式・全校集会 | |
| 21日 | 英語検定 | |
| 25日 | 新1年生保護者説明会 | |
| 31日 | 参観日 1年親子レク | |